

選りすぐりで一括り、 拘りお薬のくすぐり

2023年 3月 25日

在籍No.273 心葉ヴェレ(二期生)



・開幕自分語り。まあ、前提として。

まず私は目覚める前は「エロ=ひどいこと」だと思っていました。携帯広告のせいです。

性に目覚めた時点で3つの分岐点がありまして、それぞれ

- 1：ToLOVEるを見たこと
- 2：手を出したゲームが全年齢補正をかけたこと
- 3：先輩や恋愛相手が悪戯を仕掛けてきたこと

これら全てが「くすぐり」だったので、性の目覚めの方向性が針のように尖りました

今では「エロ=ひどいこと」という偏見はなくなりましたが、ほぼ無関心・無反応になってしまっています

そんな私なので皆様とは視点が違う事も多いかなと、メモ書きのために書いてる形になりました

なんの役に立つかは知らないっす。あ、それと私のリストの詳細自体を書いてるだけだったりすることもあります。

出来る限り客観的にみたのがこちらの分、私の好みが強くと強く反映されてるのがリスト、という別れ方はしています。

・そもそもくすぐりとは？

人間には神経が通ってる場所に触れられると触覚を感じます。

これが多い所になると「攻撃を受けそうになっている...!？」と感じ、緊張状態になります
しかし問題ないとわかるので警戒状態だけ続く形になります

緊張状態が続き、一気に酸素が消費されることにより、呼吸を取り込む必要がでてきます。

呼吸を一度に取り入れる方法は笑いであり、それによって笑いだしてしまう...という説が有効だそうです。そう、一説なんです。

自分で自分をくすぐっても効かないのはこの理由で、自分は予測できてしまうから警戒状態に入らないんですね。

海外でも同じ「HA」で笑いますし、実験によっては実験マウスでも笑いの脳波が確認できるのか...

身近なことなのですが、実は理由自体は不確定なままなんです。

・歴史。

いきなり真面目な話になりますが。そもそもくすぐりはいつからあったのか。

気軽にできてしまう通り、記録自体は古く古代ローマに「足裏くすぐり処刑」があったそうです。

性的なものとして見られたのは比較的現代であり、AV自体は既にジャンルにありました。

日本では遊郭などで逃げだした遊女にお仕置きする際、傷をつけないためにくすぐりの刑が行われた...という話もあります。

明確にくすぐり好き、くすぐりフェチが爆発的に増えたのは1970年代のルパン三世第一話で、ヒロインの峰不二子がくすぐり拷問されるシーンがあります

このおかげで女スパイ＝くすぐり拷問、というイメージも固まっている...そうです。メスガキ＝スカートたくし上げくらい結びついてるみたいですね

・性行為との共通点について。

くすぐりも性行為も

「服が乱れ、息荒くなり、頬を赤くしながら、あられもなく身悶えて、脱力したりもして、普段聞けないような声をあげる」

これだけ見るとほぼ一緒の事です。にありーいこーるです。

するのもされるのも、全てそういった反応を見たいから/見せたいからなのでこども近いですね。

・性行為との相違点について。

一番は喘ぎ声か笑い声か、という点ですね。 笑い声の誘発はほぼくすぐりのオンリーワンです。

他はくすぐり自体は全年齢で、絵本にすら乗せることができます。実際あります。

下の方にも書きますが、専用の「台詞」があるところも違うところでしょうか...

・くすぐる理由。

私の場合は

1：する側だと反応を見るため。この子の笑顔を見たいし、笑い声を聴きたい。

2：される側だと脳が「くすぐったい」に書き換えられていく感覚。すべてを忘れたたい。

3：くすぐりは信頼関係がないと不快という感覚に代わる前提により、笑顔＝信頼されてる証拠
＝好感度があるという証拠

トラップなどのシチュも好きですが、その場合だと1や2のみになります。

拘りですが、私はくすぐってびくってなったあとの一番最初の笑い声が一番おいしいと思います。

・くすぐる部位。

本来人間は、基本的に神経が通っている部分なら効きます。

効かない場所は感覚が弱いか、もしくは逆に強すぎる(痛みや痒み)わけですね

稀に快感に変化するときもあるのも、まあ...刺激してるわけですし。

一般的には脇、お腹、わき腹、足裏などはメジャーな弱点とされています。

特に足裏、おへそとかはそれ専門の派閥がいるくらいですね。室内でも靴を履く文化の英語圏などでは足裏フェチとの併発も多いようです。

ところで耳に吐息をふーってするのはくすぐりに入るんですかね...?

・くすぐる道具

手、マジックハンド、羽根、触手、尻尾、猫じゃらし、舌、電気攻め、空気...など、わりと多岐にあたります。

中には笑気ガスなんてものも...厳密にはくすぐりとは違うと思いますが。

足裏など皮膚が厚い所にはブラシなどのごしごし系が使われることもありますし、爪によってかりかり...とされるのもあるそうです。

上記の道具の他、補助としてローション、粘液、ベビーパウダー、媚薬(敏感薬)...なども合わせる時もあります。

こちらは感触を直接変え、慣れさせない...という目的がメインになると思われます。

・くすぐる体勢、拘束

暴れることが予想されるため、体勢を崩して危険な状況意外ではまあ平和...だと思います。

拘束は基本なんでもいけると思います。マミフィケーションした後足裏だけくすぐる、なんてパターンも。

ダンジョンに類する場所の場合、落とし穴などに落とそうとくすぐる→落ちたところをさらにくすぐる、という展開も王道のうちでしょうか。よく見ます。

・くすぐる服装

一般的には露出が高かったり、ぴっちりとした服(全身タイツなど)は狙いやすいと思います。

通常の性行為と違って裸じゃなくてもできるので、あまり問題にはなりませんね。

・くすぐりと年齢、性別

こちらもすべて問題ない...と思います。だってマウスですら効く生物はとことん効くものです。

ですが笑いすぎによる呼吸困難は気を付けましょう。最悪の場合死に至る、というのはほんとです。

・くすぐる人達

人型、モンスター、機械、植物、動物系、妖怪妖魔など、全てのものが出来ると思います。

干渉できるという条件であれば幽霊とかでもできますし、魔法生物とかでもそうですね。

何故くすぐりなんて手段を選ぶのか？...エロ目的なら別にほっといていいんじゃないですか、理由なんて。

一応専門とする作品では「笑い声にエネルギーがある」とか「分泌物を栄養とする」とか、「悪魔や神などに笑いを捧げる」とか「単に屈辱を与えるため」などの理由でされてる方が多いですね。

・どこまでやるのか

する人にもよりますが、気絶、失禁や絶頂、死亡するまで続ける...という人もいます。人が多いからいろんな拘りがありますね

私は気絶手前のぼーっとする、くたっとする...くらいの感覚までしませんが、むせたりしたらすぐにやめます。健康第一。

ここに関してはかなり情がある方であり、信頼関係を大事にする...という点からですね。

ゲームなどの題材によっては失禁や絶頂を区切りとしてシーンを終わるパターンが多いです (BADENDだと永遠に...というのもありますが)

・シチュエーション。

平和な理由ですと悪戯、いちゃいちゃ、罰ゲーム、秘密とかを吐かせるシチュは多いですね。

平和じゃない場合だと拷問、処刑、エネルギー搾取などがあります。

いかんせんあたりは笑い声に包まれるのでシリアスブレイカーになるはありますが。

・攻めの台詞。

くすぐりには専用の掛け声があります。「こちょこちょ」「こしょこしょ」などですね
英語だと「Ticke-tickle」というそうです。ていこていこー。

この台詞をいうことでくすぐっているという感覚を確定化させ、脳の情報を埋め尽くします。
ある意味、洗脳にも近いものがある...と思っていますよ？

・受けの台詞。

まあ笑い声が8割くらいだとは思いますが。よっぽど弱い子なら叫んでしまったり、喘ぎ声が混
じったりも...

「くすぐったい！」と伝えてギブアップを求める子もいると思います。

笑い声も、暴れる身体も、荒くなる息も、全てあなたに「やめて欲しい」と懇願しているの
です。

大してあなたは指先だけで翻弄し、悶えさせ、征服しているのです。

...とても楽しいと思いませんか？

・他の性癖との合わせ技。

前戯としてくすぐり、いちゃいちゃの延長戦から普通の性行為につなげるのはよくあります。

まあくすぐり終われば息の荒い服乱れた子ですもの、そりゃムラっときてもおかしくはないか
と。

それ以外ですと失禁、窒息、拘束、羞恥攻め、機械姦、脱力、露出など。

精神面は隷属、魅了、征服、洗脳、拷問など、なんでも混ぜていいと思いますよ。

・統括。

私はそもそも、くすぐりしか食べられません。例えるならジャガイモしか食べれない生物です。最近では訓練してくすぐり混じりの性行為ならいいかな...とは思えるようになりました。ポテトサラダくらいですね。

ですがそれで性行為だけになってしまうと冷凍のミックスベジタブルを直接叩き込まれるような感覚になります。

くすぐり自体は正直前戯止まり、所詮子供の遊びだ、と思う人もいるとは思いますがちゃんと居ても問題ないくらいになってくれるとありがたいです。

お肉しか食べない人でも、添えられたポテトだって食べてみませんか。

きっと素敵なミッ「くすぐり」ルだと思いますよ？